

“住宅リフォーム大作戦” いよいよ始動!!



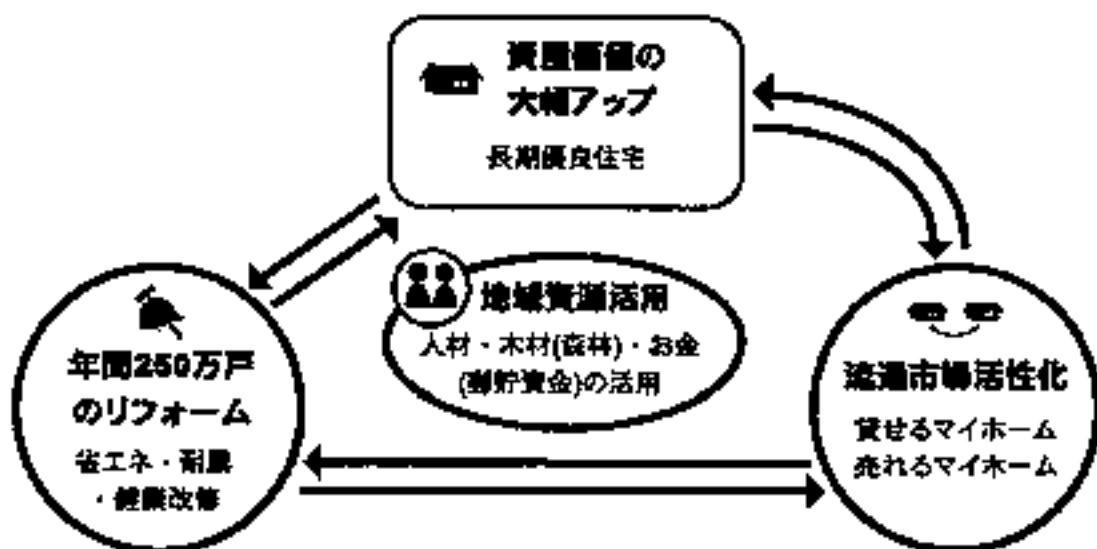
参議院議員
前田武志

全国にはマイホームが5700万戸もあります。民主党の経済政策の柱はこのマイホームをターゲットにした総合的住宅政策“住宅リフォーム大作戦”です。マイホームは新築から20年も経てば、資産価値は“ゼロ”になってしまい、やがて産業廃棄物になり

かねません。このマイホームに省エネ、耐震、健康のリフォームを施すことで資産価値を格段に高め、金融サービス向上の施策、不動産流通市場活性化の施策を組み合わせることで、持家世帯にはいつでも現金化できる安心の老後資産を、子育て世帯にはニーズに

あった良質な住環境を提供します。またリフォームに国産木材の利用を進めることで地域経済の活性化し、山間部の経済的自立を支えます。“住宅リフォーム大作戦”は民主党の掲げるCO2削減の切り札でもあります。公約実現に向けて全力で取り組みます。

「木の文化」を再生
持続的地球環境を実現
CO2の25%削減



<p>住宅リフォーム大作戦 キーワード</p> <p>年間250万戸のリフォーム</p> <p>エネルギーパス 1980年基準 温度差緩和 バリアフリー 国産木材利用</p>	<p>資産価値を大幅アップ!</p> <p>新築に準ずる担保価値 いつでも現金化・年金化 リバースモーゲージ</p> <p>地域資源活用</p> <p>風土に合った住宅 木造技術担い手育成 低利融資制度(貯貯資金)</p>	<p>流通市場活性化</p> <p>定期借家様活用 ホームインスペクター 家の履歴書 家賃補助(子育て世帯)</p> <p>CO2の25%削減</p> <p>カーボンプレジット</p>
---	---	--

民主党常任幹事会議長(拉致問題特別委員会委員長)地球環境国際議員連盟(CLOBE JAPAN) 事務局長
昭和12年10月22日生まれ。奈良県十津川村出身。京都大学工学部卒。同大学院修了後、建設省入省。村川島建設専門官、
三造工事事務所社長、ベトナム日本大使館一等書記官、シドニー領事などを歴任。1985年衆議院議員に初当選し以後4期務める。
2004年参議院議員に当選し、現在1期目。民主党の住宅政策小委員会の座長を務め、民主党「リフォーム大作戦」の名付け親。
また、地球環境国際議員連盟事務局長として世界の地球温暖化問題においても同力的に活動中。

マニフェスト 政策各論

「国民の生活が第一」の政治を実現するため、
民主党は、次に掲げる主要な政策を着実に、速やかに実行します。

42. 地球温暖化対策を 強力に推進する

【政策目的】

○国際社会と協調して地球温暖化に歯止めをかけ、次世代に良好な環境を引き継ぐ。

○CO₂の排出量について、2020年までに25%減（1990年比）、2050年までに60%削減（同比）を目標とする。

【具体策】

○「ポスト京都」の温暖化ガスの削減の国際的枠組みに米国・中国・インドなど主要国に協力を求め、主導的な環境外交を展開する。

○キャップ&トレード方式による実効ある国内総生産取引市場を創設する。

○地球温暖化対策税の導入を検討する。その際、地方財政に配慮しつつ、特定の産業に過度の負担とならないよう留意した税率設計を行う。

○家電製品等の供給・販売に際して、CO₂の排出に関する情報を通知するなど「CO₂の見える化」を推進する。

43. 全量買い取り方式の 固定価格買取制度を導入する

【政策目的】

○国民生活に及ぼした温暖化対策を推進することにより、国民の温暖化に対する意識を高める。

○エネルギー分野での新たな技術開発・産業育成を促すため、安定した雇用を創出する。

【具体策】

○全量買い取り方式の再生可能エネルギーに対する固定価格買取制度を迅速に導入するとともに、従来の太陽光系（スマートパネル）の技術開発・普及を促進する。

○住宅用などの太陽光パネル、環境対応型省エネ家電などの購入を助成する。

44. 環境に優しく、質の高い 住宅の普及を促進する

【政策目的】

○住宅政策を転換して、多岐化する国民の居住ニーズに応じた住宅の普及を促進する。

【具体策】

○リフォームを重点点に位置づけ、バリアフリー改修、耐震補修改修、太陽光パネルや蓄電池設置などの省エネルギー改修工事を支援する。

○建築基準法などの関係法令の抜本的見直し、住宅建設に係る資格・許認可の整理・簡素化等、必要な予算を地方自治体へ一律交付する。

○正しく建てられる人（ホームインスペクター）の育成、新築現場監督の選任時の要件を推進する。

○多様な賃貸住宅を供給するため、家賃補助や保証制度などの支援策を創設する。

○定額借入制度の普及を推進する。ノンリコース（不返済）型ローンの普及を促進する。土地の価格のみでなされているリバースモーゲージ（住宅担保貸付）を利用しやすくする。

○木材住宅受売を「地球資源循環型産業」の柱とし、推進する。伝統工法を継承する伝統番、健全な地域の建設・建築産業を育成する。

45. 環境分野などの技術革新で 世界をリードする

【政策目的】

○1次エネルギーの総供給量に占める再生可能エネルギーの割合を、2020年までに10%程度の水増しで行き上げる。

○基礎技術の研究開発・実用化を進めることで、我が国の国際競争力を維持・向上させる。

【具体策】

○世界をリードする燃料電池、蓄電池、バイオマスなどの環境技術の研究開発・実用化を進める。

○新エネルギー・省エネルギー技術を活用し、イノベーション等による新産業を育成する。

○国立大学法人などの公共研究機関、研究費の改善、研究者奨励金制度の創設などにより、大学や研究機関の教育力・研究力を世界トップレベルまで引き上げる。

46. エネルギーの 安定供給体制を確立する

【政策目的】

○国民生活の安定、経済の安定成長のため、エネルギー安定供給体制を確立する。

【具体策】

○エネルギーの安定確保、新エネルギーの開発・普及、省エネルギー推進等は一元的に取り組む。

○シナメタル（希少金属）などの安定確保に向けた体制を確立し、再利活用システムの構築や資源国との外交を進める。

○安全を第一として、国民の理解と信頼を得ながら、原子力利用について着実に取り組む。



前田武志